令和８年度　石越中学校の教育

Ⅰ　学校経営基本方針

第２期宮城県教育振興基本計画（改訂版）並びに登米市の教育基本方針に則り、学校・家庭・地域の強い絆のもと、ふるさとを創造する高い志と豊かな心、そして将来をたくましく生きる力を持った生徒を育成しながら、活力に満ちた特色ある学校づくりを目指す。

① 安心・安全な学校
② 一人一人が輝く学校
③ 確かな学力を育む学習活動の推進
④ 豊かな心と人間関係を構築する教育活動の推進
⑤ 家庭や地域とともに歩む開かれた学校
⑥ ＲＰＤＣＡ・ＡＡＲサイクルを意識した教育活動の推進

Ⅱ　学校教育目標

『自主』　自ら学習に励む意欲的な生徒
『協力』　互いに協力し合う心豊かな生徒
『健康』　進んで心身をきたえる健康な生徒

＜目指す学校像＞

“感動”がある学校

～「分かった」「できた」を一人一人で、皆で感じることができる学校～

＜目指す生徒像＞

○自ら学習に励む意欲的な生徒
○互いに協力し合う心豊かな生徒
○進んで心身をきたえる健康な生徒

〈目指す教師像〉

○師弟同行ができる教師
○信頼される教師
○研修に励み、指導力を高める教師

Ⅲ　学校経営３つの柱

１　知プロジェクト：確かな学力を身に付け、主体的に学び続ける生徒を育成します。

【授業力の向上】

○ 「５つの提言」「市学習スタンダード」「新いしこし」学習『(い＝意見を交わそう（対話的・協働的な学び）し＝自分から発表しよう（主体的な学び）こ＝根気強く考えよう（深い学び・個別最適な学び）し＝集中して取り組もう（授業・家庭学習)）を踏まえた具体的な実践→安心・安全に学べる環境づくり、ICT の活用能力向上、研究授業による授業改善・指導力向上、小・中合同研修会の開催、指導主事学校訪問の相互交流（小・中連携）

○ 学習指導要領に則った指導法の工夫と実践→指導と評価の一体化、

○ 授業におけるユニバーサルデザインの構築

→特別支援教育の充実、少人数指導の実施、ＴＴ指導による個への学びの保障

○ 総合的な学習の時間による探究的な学習の実践及び発表会の開催

【個に対応した学びの実現】

○ 家庭学習と授業をつなぐ「サイクル学習」の推進

→次時の課題の提示、ICT の積極的・効果的な活用

○ 家庭学習での課題の個別化と自己決定

→石ちゃんノート・自主学習ノートの活用、一人一台端末の効果的活用、放課後学習会、ノー部活動デー、週末課題の実施、メディアコントロールの実践

○ 文化的行事への積極的参加及び各種コンクールへの積極的な応募

２　徳プロジェクト：夢や志を持ち、互いに認め合い、高め合う生徒を育成します。

【志教育の推進】

○ 教科、領域を横断した志教育（かかわる・もとめる・はたす）の推進

→：年間計画への位置づけ、「みやぎの先人集」の活用

○ ３年間の系統的な体験活動の重視

→地域〈石越〉学習、地域行事（市民体育祭・まるごといしこし祭り）への参加、ボランティア活動の積極的参加、職場体験活動

○ キャリア教育の推進

→進路学習の充実、キャリアセミナー、職場体験、ボランティア活動の推進、学校運営協議会との連携、PTA との連携、外部講師の招聘

○ 教育活動全体での道徳教育の推進

→全教員による道徳の授業の実践、命の尊さや人権教育の充実

○ ボランティア活動の推進、活性化

→地域行事（市民体育祭・まるごといしこし祭り）への参加

○ 規範意識を醸成する活動

→生徒会活動の充実（あいさつ〈先行挨拶〉・ありがとう運動・生徒会総会、各種壮行式の実施）

【４機能を生かした生徒指導】

○ 自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安心・安全な風土の醸成の視点を踏まえた学級・学年づくり「居場所づくり・絆づくり」

→一人一人の生徒を大切にした指導（自己存在感）

→生徒を信じ、任せ、励まし、認め、褒める指導（自己決定）

→支持的で創造的な集団づくり（共感的な人間関係）

→認め合い、安心して学校生活が送れる雰囲気づくり(安心・安全な風土の醸成)

【いじめ防止・不登校支援対策】

○ QU 調査及び学校生活アンケートの定期的な実施と早期発見及び早期対応

→結果の把握と分析、早期対応、情報の共有と組織的対応の徹底

○ 教育相談活動の充実と心のケア

→ＳＣ・ＳＳＷ・外部関係諸機関との連携、

→継続的なケース会議の実施、生徒一人一人に寄り添った対応

3　**体プロジェクト：心身共にたくましくよりよい生き方を求める生徒を育成します。**

【安全・防災教育の推進】

○ 継続的な交通安全指導

→朝の登校指導、交通安全教室

○ 情報モラル・リテラシー教育の充実

→外部講師による講話、生徒同士の熟議等、インターネット安全利用教室

○ 命を大切にする教育の充実

→道徳の関連を図った指導、外部講師による講話の実施

○ 地域及び幼・小と連携した防災訓練の実施

→引き渡し訓練の実施、自助・供助を高める防災教育の充実

→総合防災学習（１年防災クロスロード・２年救命救急講習・３年 HUG）

【体力向上・健康教育・食育の推進】

○ 体力づくりの推進

→放課後５分間走、体力テストの継続実施、

○ 感染症の理解及び感染症防止に対する意識の高揚

→保健安全指導の充実、心の健康・性に関する教育、薬物乱用に関する問題等への連携した指導

○ 望ましい食習慣の確立

→授業の中での理解、委員会活動の充実、養護教諭・栄養教諭による給食指導、尿ナトカリ比測測定及び保健指導、歯と口腔の健康づくり、家庭への啓蒙活動学校保健委員会の開催

Ⅳ　「開かれた学校づくり」＜地域とともにある学校＞

○ 情報発信と教育活動の公開

→学校便りの毎戸配付、学年・学級だより、ホームページ等による情報発信、石中プラン 2026 の配付、学校配信メール（学びポケット）の活用、授業参観、学校行事の公開（運動会・音楽フェス・教育講演会等）

○ ＲＰＤＣＡ・ＡＡＲサイクルを意識した学校評価の実施と公表

→保護者アンケートの実施と公表、学校運営協議会の開催

→アンケート内容の精選、会議の内容及び熟議の充実

○ 小中合同研修会の開催・指導主事学校訪問相互交流（小・中連携）の実施

→目指す姿「新いしこし学習」の共有、児童の授業参観・部活動交流、弁論を聞く会（小学校へ出前発表）、学習及び生活の約束等の連携

○ 家庭・地域・関係機関との連携

→地域人材の積極的活用(地域コーディネーターとの連携)、PTA との連携（保体行事、親子早朝作業、教育講演会)、地域行事（市民体育祭・いしこしまつり等）への参加、ボランティア活動、民生・児童委員と中学校との連絡会の開催